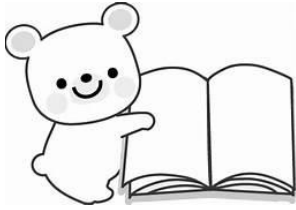


ほんじつ ～本日のおすすめの本②～



『ふしぎやさん』～まじょよみせ 魔女の夜店～

はやしばらたまえ さく 林原玉枝 作 ・ はらだたけひで えい 絵

しゅつぱん 出版:アリス館(2008年発行)

*この本は 9類の書棚にあります。(貸出可能)

とかげの、ちろりんは、今夜が楽しみです。毎年、桜の花がおわって、あたらしいみどりの季節になる最初の夜には、魔女たちが夜店を出すのです。森の動物の子どもたちは、朝からわくわくしています。

やっと夜になりました。

夜店にむかう森の道の両側には、すみれやら、はこべなどの小さな花が、花びらのなかに灯りをともし、道案内をしてくれます。

ちろりんは、おかあさんといっしょに、花のランプにそって、うきうき歩いていきます。そして、見つけたある魔女の夜店に売っていた「草のつゆの くびかざり」は、ちろりんの心をとらえて離しません。

そして……

母と子の心温まるおはなしです。

このほか7作品を集めたすてきな物語集です。ぜひ読んでみてください。



作者の林原玉枝さんの作品は、3

年生の国語の教科書にのっています。

とても有名な「きつつきの商売」というおはなしです。

まるで目の前に、色鮮やかな森の

いきものたちの姿が、浮かぶよう

です。ぜひ読んでみてください。

自分で読むなら3年生から6年生まで。
読んでもらうなら、1年生から楽しめる本です。

おしらせ

図書館へ本を返すときは、図書館の入り口の

返却棚に、本を置いてください。

(新型コロナウイルス対策のため、念のため

消毒をしてから、書架へもどしています。)